

# 創刊号

## School Aid Japan Cambodia

スクール・エイド・ジャパン・カンボジア

# Dream通信

2008. 4. No.1



## 「夢追う子どもたちの家」が開園しました！ これからどうぞ宜しくお願いいたします！



カンボジア・日本の両国旗と園の旗を掲げて記念撮影

2008年3月19日に、無事に「夢追う子どもたちの家」の開園を32人の子どもたちと迎えることができました。遠い日本からこの開園式に参加をしていただいた、里親の皆様と、SAJ（スクール・エイド・ジャパン）のご支援者の皆様には、深く御礼を申し上げます。開園式後のご支援者様との温かい交流を通じて、子どもたちにとって、遠いイメージでしかなかった日本という国や、自分たちを応援して下さる方々がいるということを感じることができた、とても有意義な時間でした。

開園式を迎えるにあたり、まず式典での国旗掲揚のために、カンボジア・日本の両国旗と「夢追う子どもたちの家」のロゴが入った旗を準備し掲げました。初めて見る日本の国旗や、園のロゴの入った旗を見て、子どもたちは興味津々で、3本の旗が風になびく様子に大喜びでした。

施設は2月に完成したばかりということもあり、煉瓦や木材などの建設資材が敷地内のあちこちにまだ残っている状態でした。遠い日本から開園式に参加して下さる方々に、気持ちよく園内を見てもらいたいという思いで、日中の気温が35度を超える中、子どもも職員も汗だくになりながら、3日間総出で片付けをしました。また、開園式当日に園内で取れた果物を食べていただこうと、職員は前日にマンゴーやジャックフルーツなどを収穫しました。



リヤカーをみんなで引っ張り、片付けの真っ最中です



園内にあるマンゴーの木。ジャックフルーツもあります



開園式での発表のために、繰り返し練習をしました



園のロゴが入った正面玄関で撮影(上・下)

「夢追う子どもたちの家」には入園した子どもたちが、宣言をする文章があります。これは子どもたちが、この場所で、「皆で夢を追いそして将来必ず幸せになる。」という決意を表した文章です。最初は紙を見ながらでも、全く声も揃わなかった子どもたちが、練習を重ねていくうちに、表情も真剣になり、そして声も大きくなっていきました。開園式当日には全員が自分たちの決意を、声を揃えて発表することができました。現在も朝夕の園旗と国旗掲揚の後に、皆で宣言文を唱和しています。2008年4月1日現在、32人の子どもたちが「夢追う子どもたちの家」で生活しています。その生活を支えている職員は、食事担当、生活指導担当、事務員、農園担当の7人と日本人職員2人です。補習の先生は7人おり、園に毎日通ってもらい、子どもたちに国語、算数(数学)、英語などの授業を教えています。今後は子どもたちの園での生活の様子や出来事などを、ご支援者の皆様に「Dream(ドリーム)通信」を通じ、毎月ご報告をさせていただきます。今後とも温かいご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

